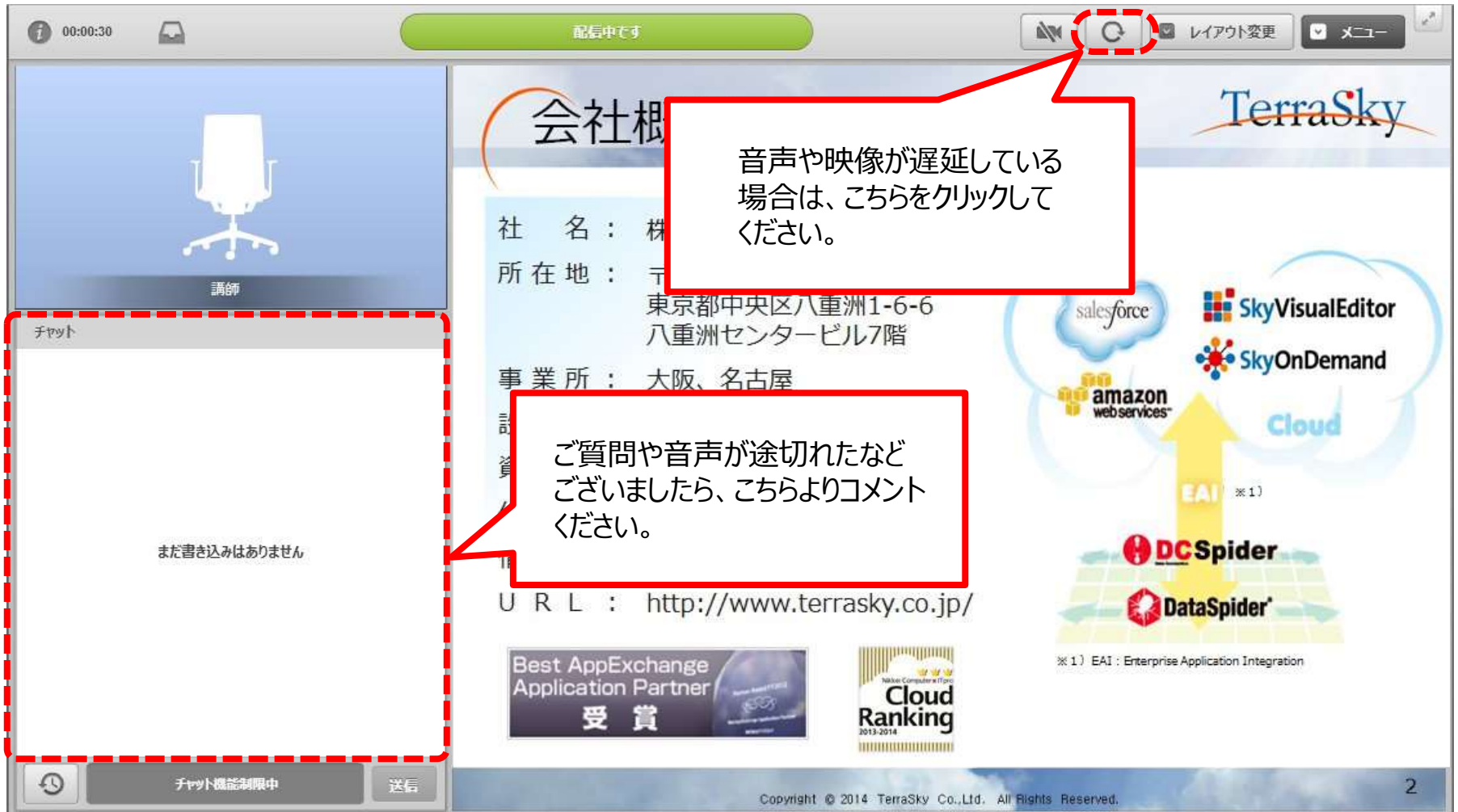




SkyOnDemandオンラインセミナー

～第10回：応用編～

作ってみよう【2】 実践的！高度な連携処理の作成



00:00:30 配信中です

音声や映像が遅延している場合は、こちらをクリックしてください。

会社概要

社名：株式会社
所在地：〒105-8501 東京都中央区八重洲1-6-6
八重洲センタービル7階
事業所：大阪、名古屋

URL : <http://www.terrasky.co.jp/>

まだ書き込みはありません

チャット機能制限中 送信

Best AppExchange Application Partner 受賞

Cloud Ranking 2013-2014

salesforce amazon web services SkyVisualEditor SkyOnDemand Cloud EAI ※1) DCSpider DataSpider

※1) EAI : Enterprise Application Integration

Copyright © 2014 TerraSky Co.,Ltd. All Rights Reserved.

SkyOnDemandの活用術を、毎月テーマに沿ってお届けします。
過去のウェビナーの動画・資料は、下記URLよりご覧頂けます。

<http://www.terrasky.co.jp/document/skyondemand/>



The screenshot shows a web browser window displaying the TerraSky website. The address bar shows the URL www.terrasky.co.jp/document/skyondemand/. The page features the TerraSky logo and navigation menus for products, services, case studies, and company information. The breadcrumb trail indicates the current location: HOME > コンテンツライブラリ > SkyOnDemand/DCSpider. The main heading is "資料ダウンロード : SkyOnDemand/DCSpider". Two seminar entries are listed:

- SkyOnDemand オンラインセミナー ～第2回 基本編～**
2014年06月19日 | SkyOnDemand/DCSpider
さわってみよう【1】 取引先データをSalesforceへファイル連携 (25分)
- SkyOnDemand オンラインセミナー ～第1回 準備編～**
2014年05月29日 | SkyOnDemand/DCSpider
SkyOnDemandにログインしてみよう (23分)

～第10回：応用編～

作ってみよう② 実践的！高度な連携処理の作成 – 後半 –



本日のゴール

- エラーハンドリングの実装方法や実行結果からエラー発生箇所を特定する流れについて
- ファイルトリガーの設定方法

前回作成した連携シナリオをおさらいします。

実装する処理

CSV形式の取引先データをSalesforceの取引先オブジェクトにUPSERTする。

エラー内容と処理

- ①Salesforceに接続する際の接続エラーを検知し、ログに出力する。
- ②Salesforceの取引先オブジェクトへのUPSERTがエラーになったレコードがある場合は、エラーレコードをCSVファイルに出力します。

利用する処理

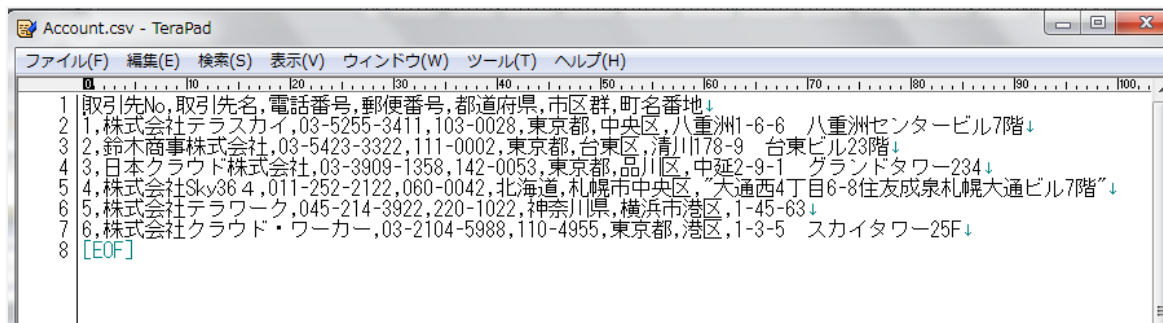
1. CSVファイル読み取り
2. Salesforceデータの書き込み(UPSERT)
3. 例外監視
4. 条件分岐
5. ログ出力
6. CSVファイル書き込み

入力元と出力先イメージ

入力元CSVファイル

6件の取引先レコード

レコードの内容：取引先No、取引先名、電話番号、郵便番号、都道府県、市区群、町名番地

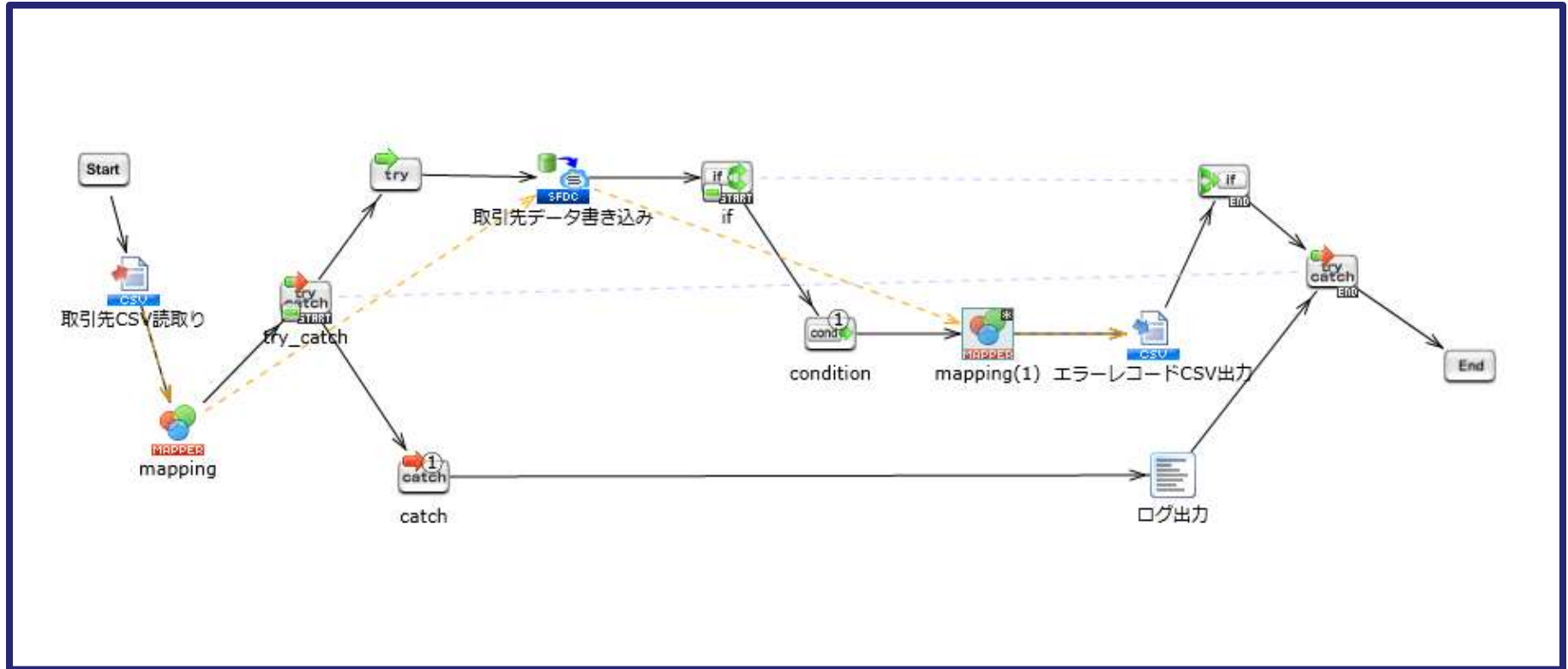


出力先Salesforce取引先オブジェクト



連携スクリプトイメージ

作成した連携スクリプトは以下になります。



1. 正常処理の実行結果の確認

作成した処理を実行し、6件の取引先データが正しくSalesforceに登録されている事を確認します。

2. セールスフォースへの認証エラー時の例外処理の確認

Salesforceに接続する際の認証エラーを発生させ、エラー時の例外処理として、エラーログが出力される事を確認します。

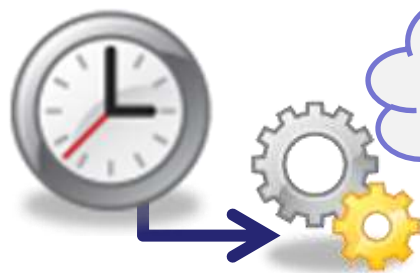
※合わせて、Salesforceにデータが登録されていない事も確認します。

3. データエラー時の例外処理の確認

入力元CSVの取引先データに不正なレコードを加え、データエラーを発生させます。データエラー時の例外処理として、エラーレコードがCSVに出力される事を確認します。

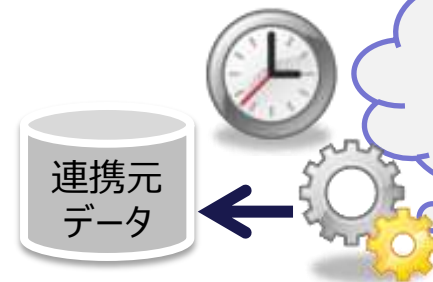
※合わせて、Salesforceにエラーレコードのみが取り込まれていない事を確認します。

スケジュールトリガー



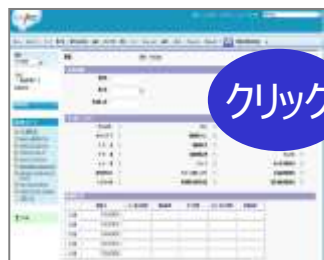
毎週日曜
23:00にバッチ
連携を実行

インターバルトリガー



10秒ごとに更新
フラグを確認し、
スクリプトを起動

HTTPトリガー



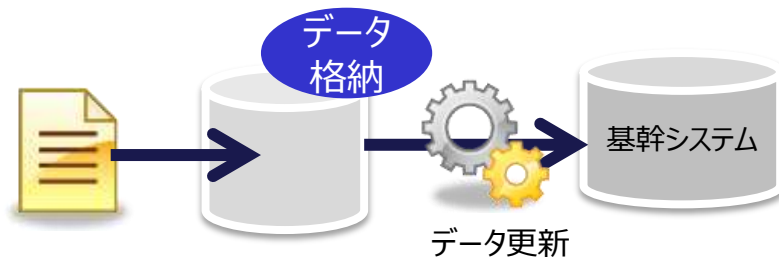
クリック

データ更新



基幹システム

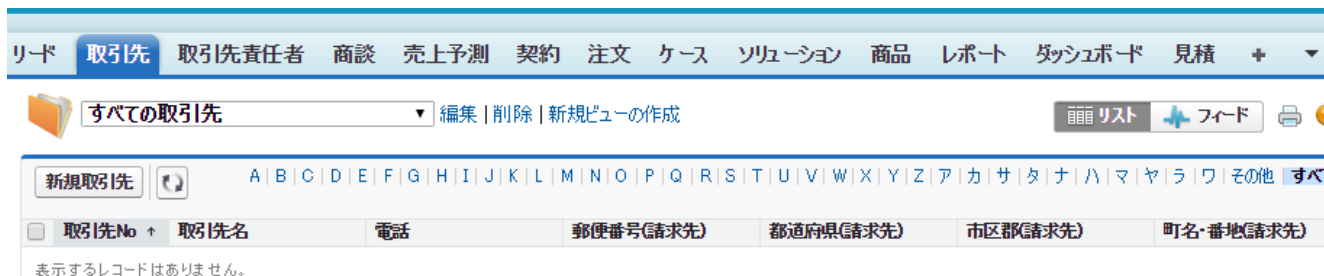
ファイルトリガー



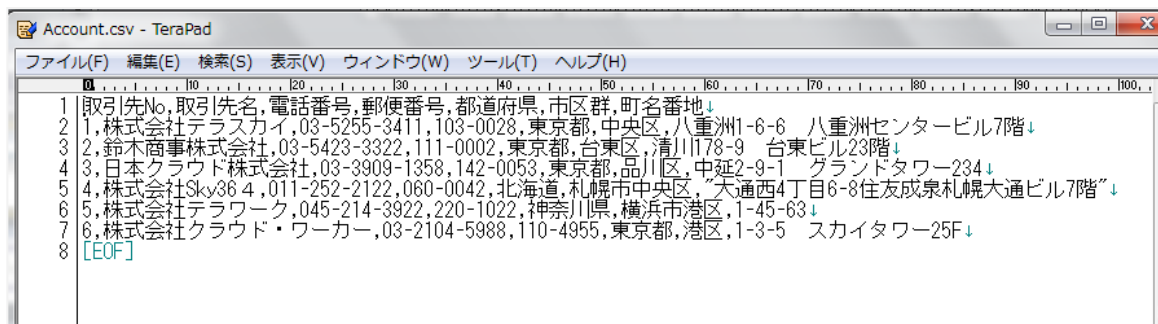
処理を起動してみよう！

連携処理の結果を確認する前に、以下の2点を確認しておきましょう。

- **Salesforceの取引先オブジェクトにデータが1件も入っていない。**
- **CSVファイル「取引先オブジェクト」に6件の取引先レコードが登録されている。**



▲取引先オブジェクト



▲Account.csv

1. 正常処理の実行結果の確認

作成した処理を実行し、6件の取引先データが正しくSalesforceに登録されている事を確認します。

2. セールスフォースへの認証エラー時の例外処理の確認

Salesforceに接続する際の認証エラーを発生させ、エラー時の例外処理として、エラーログが出力される事を確認します。

※合わせて、Salesforceにデータが登録されていない事も確認します。

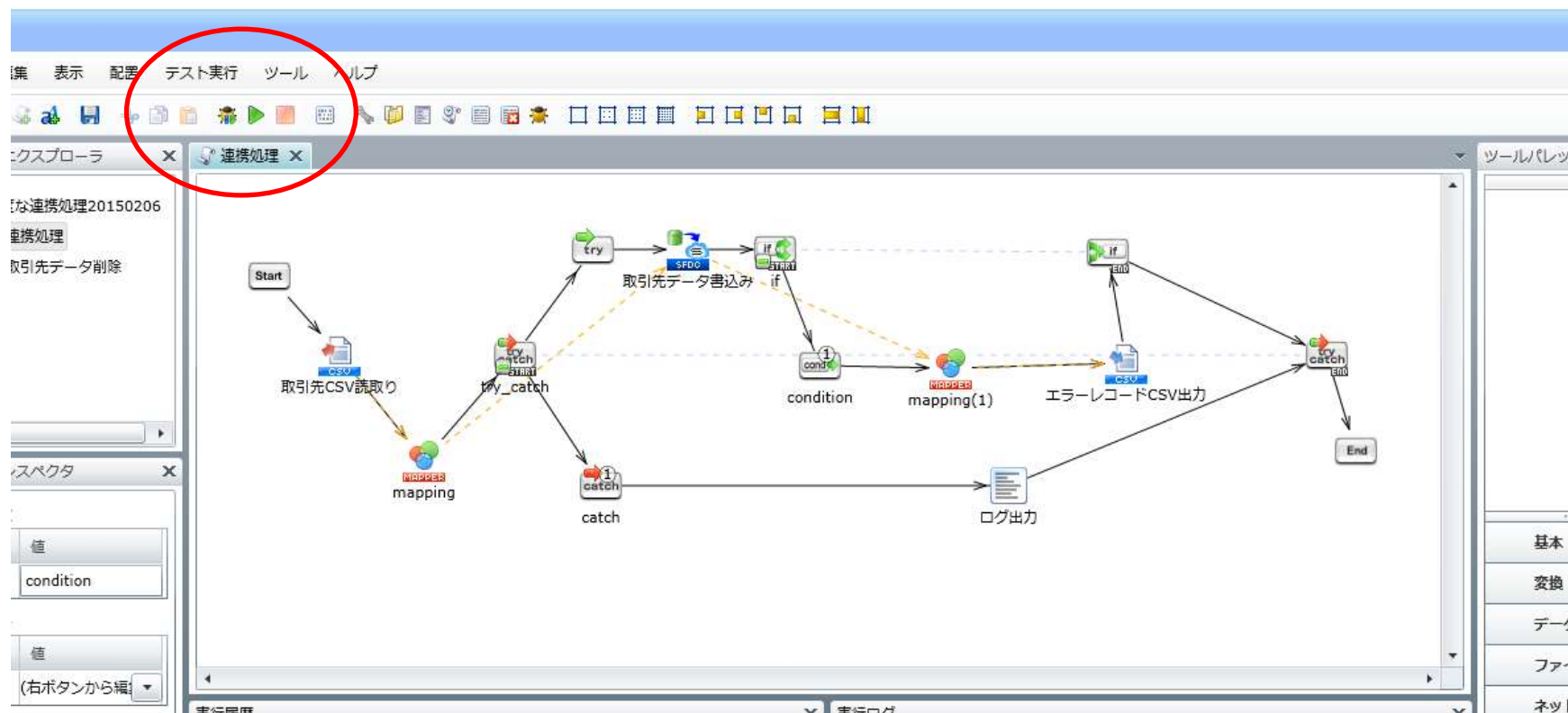
3. データエラー時の例外処理の確認

入力元CSVの取引先データに不正なレコードを加え、データエラーを発生させます。データエラー時の例外処理として、エラーレコードがCSVに出力される事を確認します。

※合わせて、Salesforceにエラーレコードのみが取り込まれていない事を確認します。

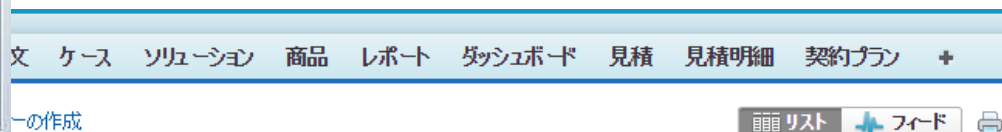
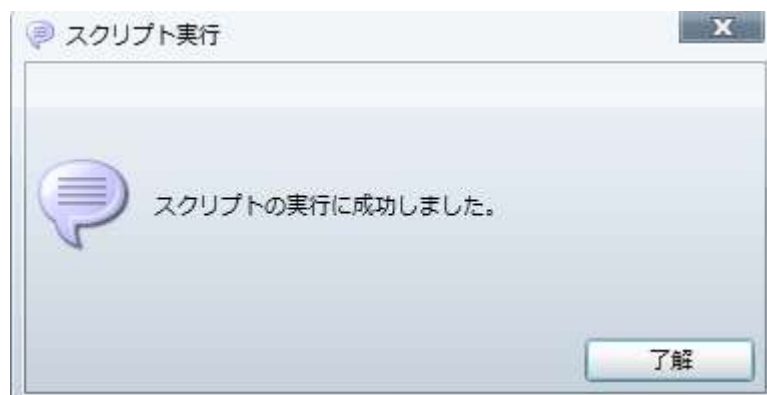
① 正常処理の実行結果の確認

作成した連携処理を開き、デザイナーの左上のデバック実行ボタンをクリックします。



② 正常処理の実行結果の確認

「スクリプトの実行に成功しました。」のポップアップが表示され、Salesforceに6件のデータが登録されていれば、正常処理の実行結果の確認は完了です。



アクション	取引先No	取引先名	電話	郵便番号(請求先)	都道府県(請求先)	市区郡(請求先)	町名・番地(請求先)
<input type="checkbox"/> 編集 <input type="checkbox"/> 削除 <input data-bbox="222 985 241 999" type="button" value="+"/>	1	株式会社テラスカイ	03-5255-3411	103-0028	東京都	中央区	八重洲1-6-6 八重...
<input type="checkbox"/> 編集 <input type="checkbox"/> 削除 <input data-bbox="222 1021 241 1035" type="button" value="+"/>	2	鈴木商事株式会社	03-5423-3322	111-0002	東京都	台東区	清川178-9 台東ビル...
<input type="checkbox"/> 編集 <input type="checkbox"/> 削除 <input data-bbox="222 1056 241 1071" type="button" value="+"/>	3	日本クラウド株式会社	03-3909-1358	142-0053	東京都	品川区	中延2-9-1 グランドタ...
<input type="checkbox"/> 編集 <input type="checkbox"/> 削除 <input data-bbox="222 1092 241 1106" type="button" value="+"/>	4	株式会社Sky364	011-252-2122	060-0042	北海道	札幌市中央区	大通西4丁目6-8住...
<input type="checkbox"/> 編集 <input type="checkbox"/> 削除 <input data-bbox="222 1128 241 1142" type="button" value="+"/>	5	株式会社テラワーク	045-214-3922	220-1022	神奈川県	横浜市港区	1-45-63
<input type="checkbox"/> 編集 <input type="checkbox"/> 削除 <input data-bbox="222 1163 241 1178" type="button" value="+"/>	6	株式会社クラウド・ワ...	03-2104-5988	110-4955	東京都	港区	1-3-5 スカイタワー25F

↑ 6件のデータが新規に登録されていれば、処理は成功です！

1. 正常処理の実行結果の確認

作成した処理を実行し、6件の取引先データが正しくSalesforceに登録されている事を確認します。

2. セールスフォースへの認証エラー時の例外処理の確認

Salesforceに接続する際の認証エラーを発生させ、エラー時の例外処理として、エラーログが出力される事を確認します。

※合わせて、Salesforceにデータが登録されていない事も確認します。

3. データエラー時の例外処理の確認

入力元CSVの取引先データに不正なレコードを加え、データエラーを発生させます。データエラー時の例外処理として、エラーレコードがCSVに出力される事を確認します。

※合わせて、Salesforceにエラーレコードのみが取り込まれていない事を確認します。

①セールスフォースへの認証エラー時の例外処理の確認

次に、Salesforceの認証エラーが発生した場合の例外処理を確認します。

認証エラーを意図的に発生させるために、今回は、Salesforceのグローバルリソースに登録されたユーザIDを変更します。

- ・ **コントロールパネル> グローバルリソースの設定**で、今回接続先として利用しているグローバルリソースを選択します。
- ・ ユーザIDを変更し、接続テストを実行してみます。
- ・ 「接続に失敗しました。」とポップアップが表示されれば、例外処理の確認準備が完了です。

グローバルリソースの設定

接続の設定
リソースへの接続に必要な情報を入力します。

接続名 Salesforce接続設定 API 29.0__Onlinedemo

種別 デフォルト

接続タイプ Salesforce(Salesforce接続設定 API 29.0)

接続リトライ設定 接続リトライ詳細設定 セキュリティ

必須設定 オプション設定 PROXY設定 SOAPヘッダー設定

ユーザID skyondemand@gmail.co.jp

パスワード

ログイン先 login.salesforce.com

SSL使用 使用する

ログインURL https://login.salesforce.com

タイムアウト(秒) 600

skyondemand1@gmail.co.jp



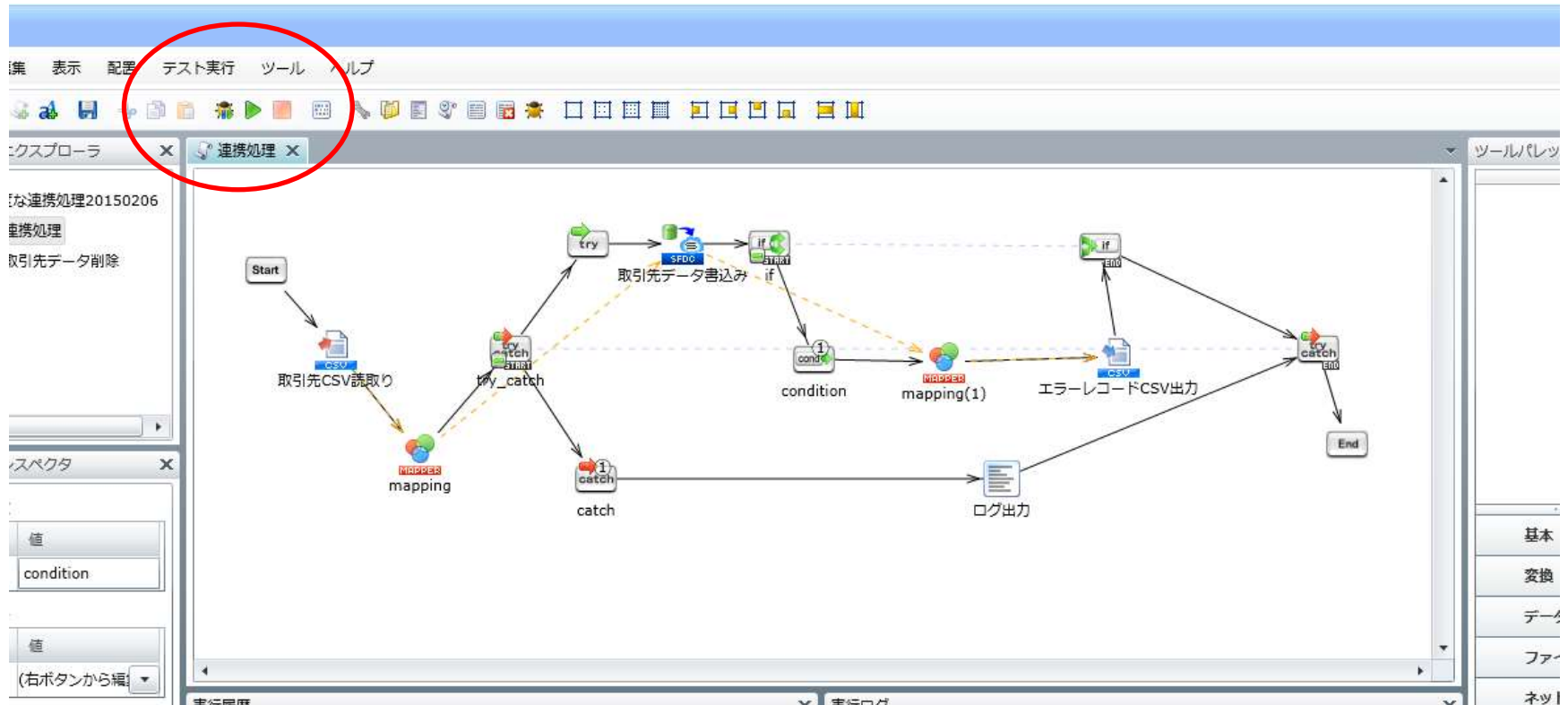
→Salesforceへの接続が不可な状態になります。

②セールスフォースへの認証エラー時の例外処理の確認

それでは処理を実行してみましょう。

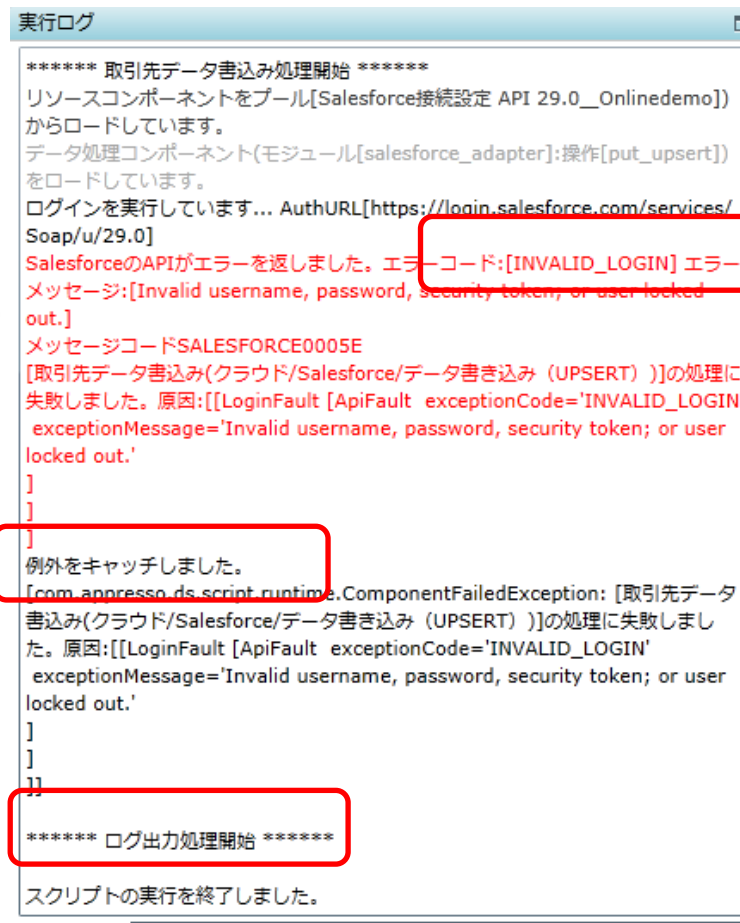
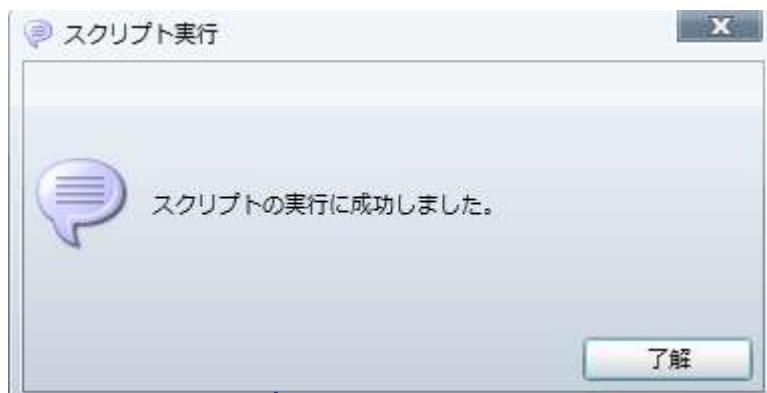
※あらかじめ、先ほどSalesforceに取込んだ6件のデータは削除しておきましょう。

先ほどと同様に、デザイナの左上のデバック実行ボタンをクリックします。



③セールスフォースへの認証エラー時の例外処理の確認

「スクリプトの実行に成功しました。」のポップアップが表示されていますが、実行ログをみると、**[INVALID_LOGIN]**というエラーが発生しているのがわかります。

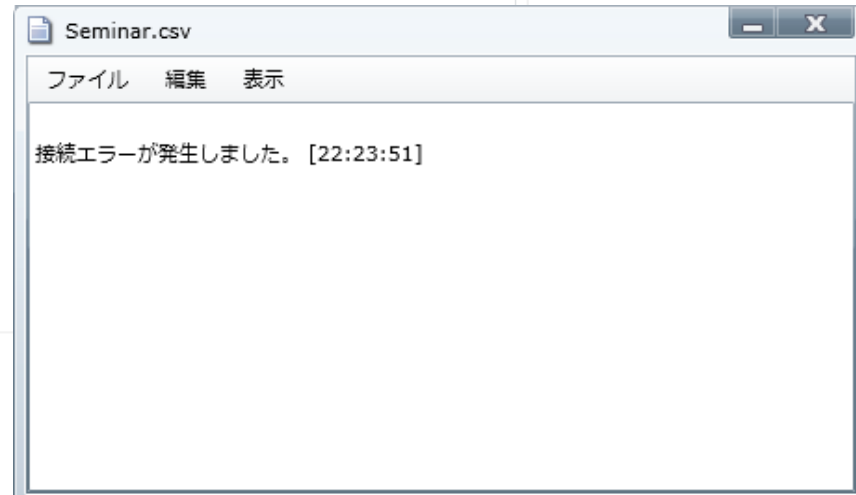


連携処理の中で、例外監視処理を設定し、「**認証エラー時にはログを出力する**」という設定を行っているので、スクリプトの実行は「成功」として終了します。

③セールスフォースへの認証エラー時の例外処理の確認

出力先のSalesforceと出力ログを見てみましょう。

Salesforceにはデータが1件も登録がされておらず、指定したフォルダにエラーログが出力されていることを確認します。



グローバルリソースのユーザIDを変更した事で、Salesforceの接続に失敗し、データは取り込まれず、例外監視処理で指定したログが出力されていることが確認できます。

↑「接続エラーが発生しました。」とログが出力されていれば、設定は成功です！

1. 正常処理の実行結果の確認

作成した処理を実行し、6件の取引先データが正しくSalesforceに登録されている事を確認します。

2. セールスフォースへの認証エラー時の例外処理の確認

Salesforceに接続する際の認証エラーを発生させ、エラー時の例外処理として、エラーログが出力される事を確認します。

※合わせて、Salesforceにデータが登録されていない事も確認します。

3. データエラー時の例外処理の確認

入力元CSVの取引先データに不正なレコードを加え、データエラーを発生させます。データエラー時の例外処理として、エラーレコードがCSVに出力される事を確認します。

※合わせて、Salesforceにエラーレコードのみが取り込まれていない事を確認します。

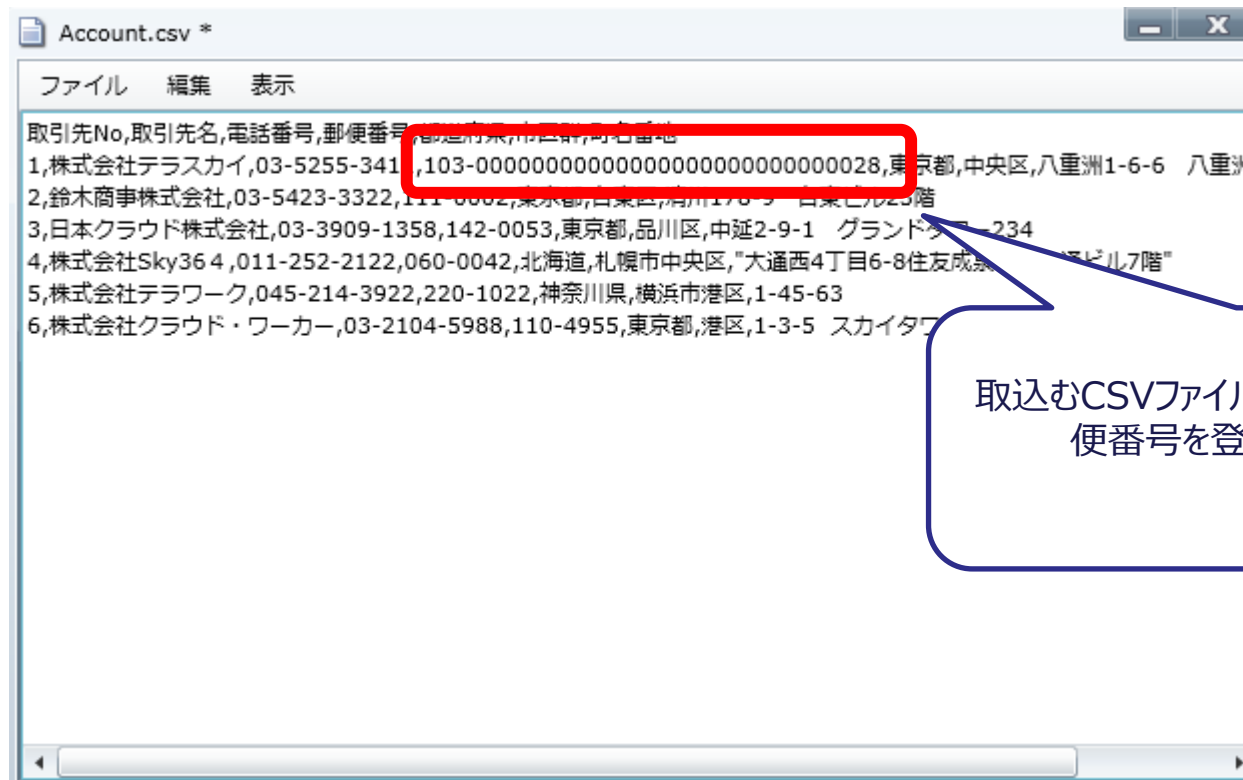
データエラー時の例外処理の確認(1/4)

①データエラー時の例外処理の確認

次に、データエラー時の例外処理の確認をします。

※グローバルリソースのユーザIDは正しいIDに戻し、接続テストを実施し、接続に成功することを確認しておきます。

データエラーを発生させるために、入力元のCSVファイル「Account.csv」に、不正なデータを1件作成します。
データを更新したら、上書き保存しておきます。

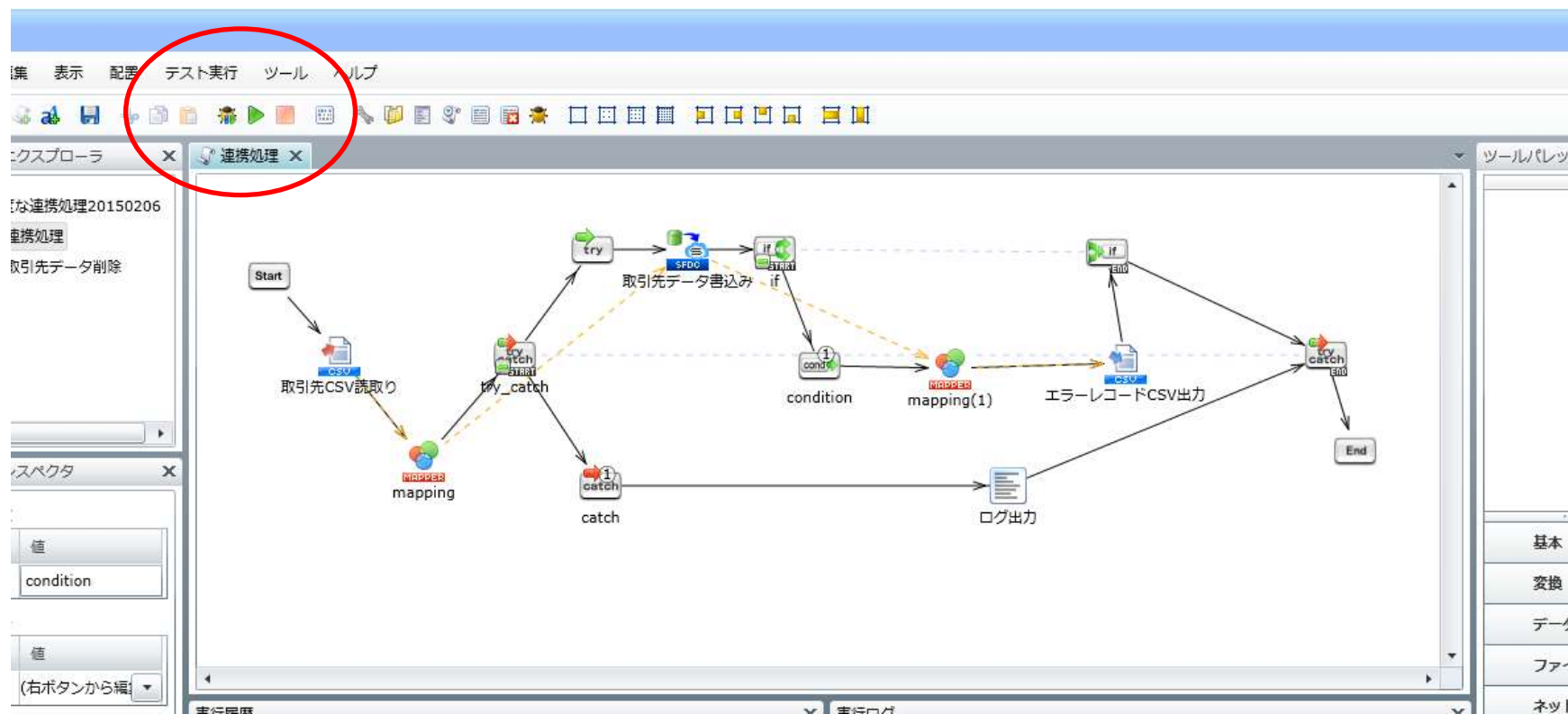


取込むCSVファイルの1レコードに、不正な郵便番号を登録しておきましょう。

②データエラー時の例外処理の確認

それでは処理を実行してみましょう。

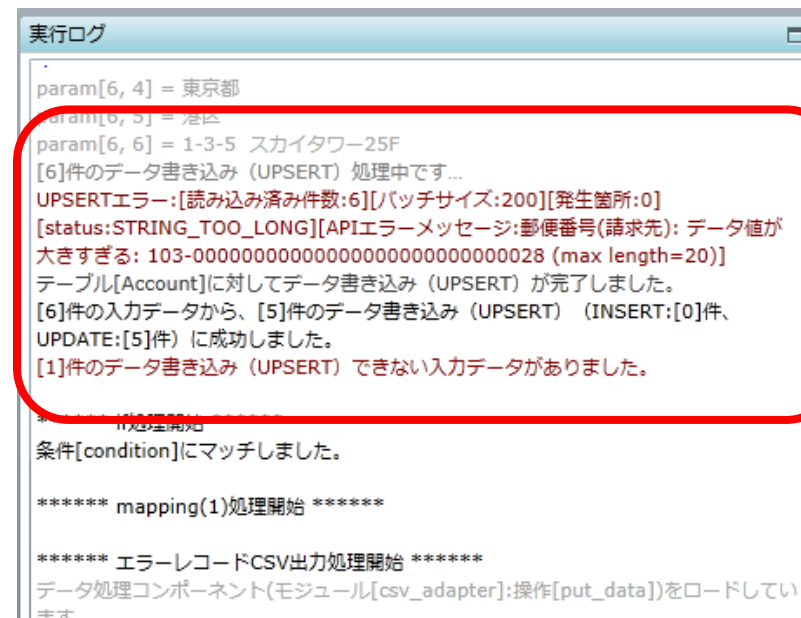
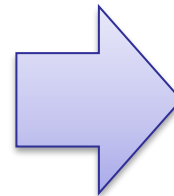
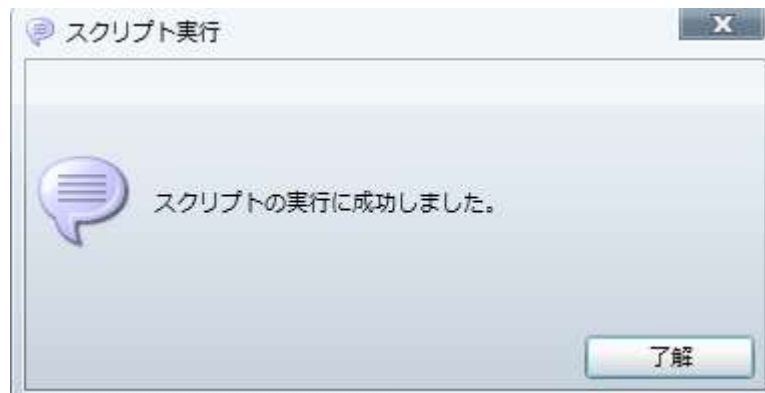
先ほどと同様に、デザイナの右上のデバック実行ボタンより、処理を実行します。



データエラー時の例外処理の確認(3/4)

③データエラー時の例外処理の確認

認証エラー時と同様に、「スクリプトの実行に成功しました。」のポップアップが表示されていますが、実行ログをみると、UPSERTエラーが発生し、1件のデータの書き込みに失敗している事がわかります。



1件の郵便番号を不正なレコードに変更したため、郵便番号のデータ値が大き過ぎ、「STRING_TOO_LONG」というエラーメッセージが表示されています。

④ データエラー時の例外処理の確認

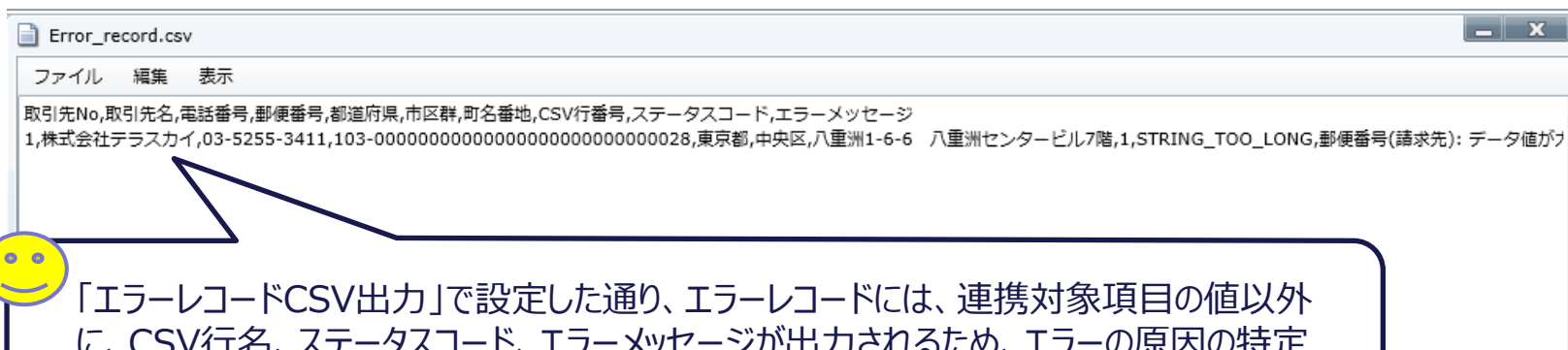
出力先のSalesforceの取引先オブジェクトと出力されたエラーCSVを見てみましょう。
取引先オブジェクトには5件のデータが登録されており、エラーCSVには1件、エラーレコードが出力されています。

▼取引先オブジェクト



アクション	取引先No	取引先名	電話	郵便番号(請求先)	都道府県(請求先)	市区郡(請求先)	町名・番地(請求先)
編集 削除	2	鈴木商事株式会社	03-5423-3322	111-0002	東京都	台東区	清川178-9 台東ビル23階
編集 削除	3	日本クラウド株式会社	03-3909-1358	142-0053	東京都	品川区	中延2-9-1 グランドタワー...
編集 削除	4	株式会社Sky364	011-252-2122	060-0042	北海道	札幌市中央区	大通西4丁目6-8住友成...
編集 削除	5	株式会社テラワーク	045-214-3922	220-1022	神奈川県	横浜市港区	1-45-63
編集 削除	6	株式会社クラウドワ...	03-2104-5988	110-4955	東京都	港区	1-3-5 スカイタワー25F

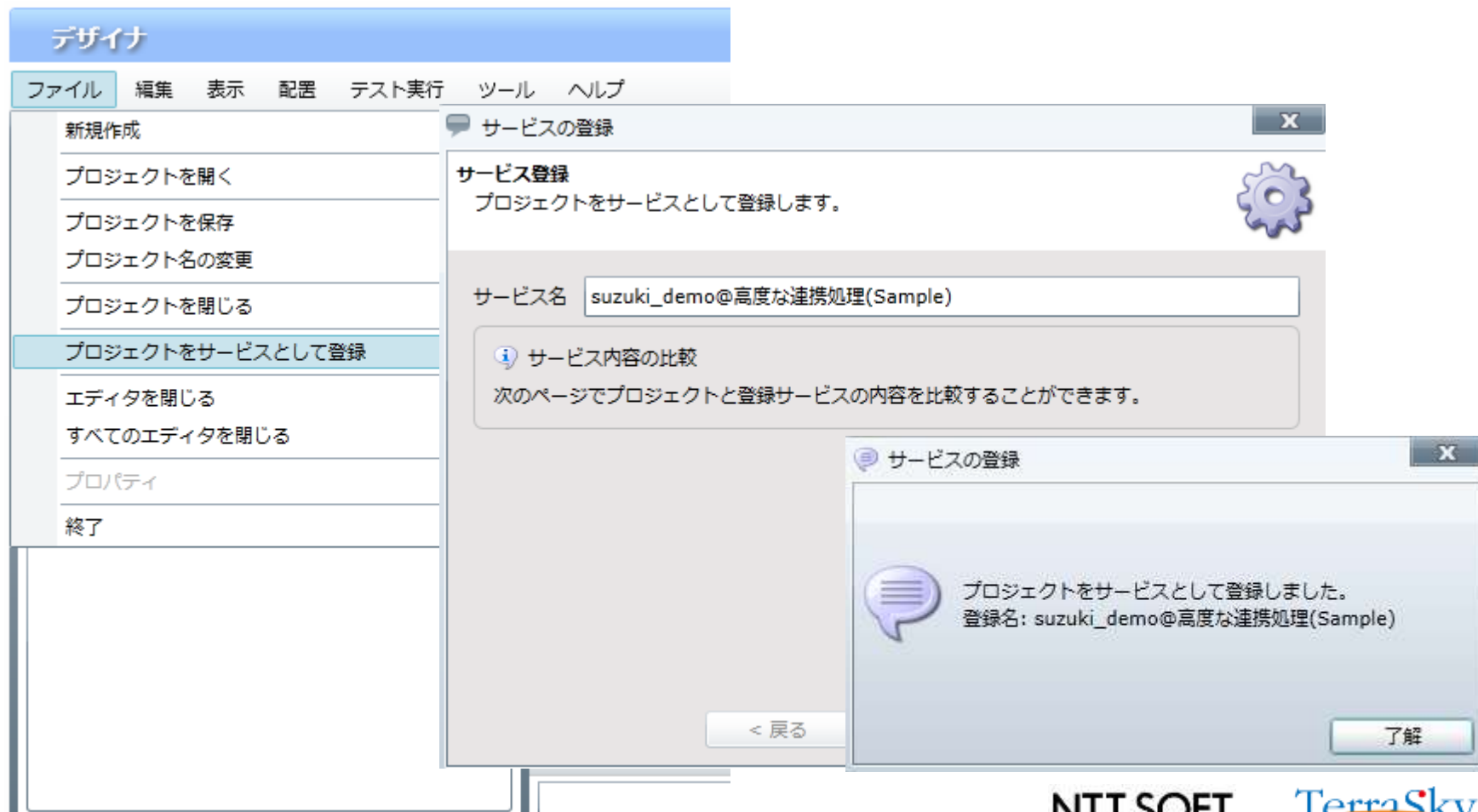
▼エラーCSV



「エラーレコードCSV出力」で設定した通り、エラーレコードには、連携対象項目の値以外に、CSV行名、ステータスコード、エラーメッセージが出力されるため、エラーの原因の特定を容易に行うことができます。

プロジェクトのサービス登録

トリガーの設定を行うには、あらかじめ作成したプロジェクトサービスとして登録しておく必要があります。
デザイナー画面のファイル>プロジェクトをサービスとして登録を選択します。

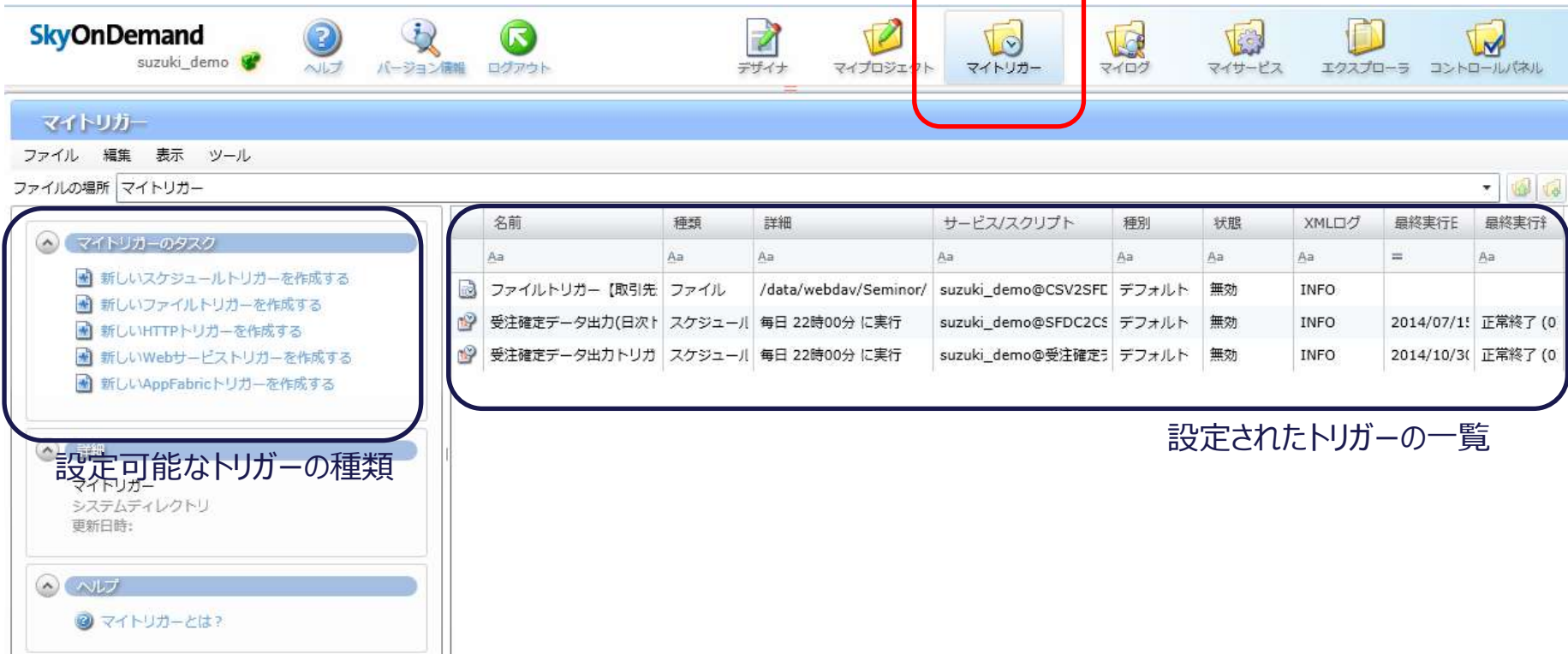


The screenshot shows the 'デザイナー' (Designer) application interface. The 'ファイル' (File) menu is open, and 'プロジェクトをサービスとして登録' (Register project as service) is selected. A dialog box titled 'サービスの登録' (Service Registration) is displayed, showing the service name 'suzuki_demo@高度な連携処理(Sample)'. Below the name field, there is an information icon and the text 'サービスの登録' and 'プロジェクトをサービスとして登録します。'. A gear icon is visible in the top right corner of the dialog. A confirmation message box is also shown, stating 'プロジェクトをサービスとして登録しました。登録名: suzuki_demo@高度な連携処理(Sample)'. The message box has a close button 'X' and an '了解' (OK) button. The main application window has a menu bar with 'ファイル', '編集', '表示', '配置', 'テスト実行', 'ツール', and 'ヘルプ'. The left sidebar contains a list of actions: '新規作成', 'プロジェクトを開く', 'プロジェクトを保存', 'プロジェクト名の変更', 'プロジェクトを閉じる', 'プロジェクトをサービスとして登録', 'エディタを閉じる', 'すべてのエディタを閉じる', 'プロパティ', and '終了'.

トリガーの起動設定

① トリガーの設定

連携処理を自動で実行するため、トリガーを設定します。
トリガーとはサービスを起動するための機能です。
WebStudioのメニューバー「マイトリガー」から設定を行います。



The screenshot shows the SkyOnDemand web interface. The top navigation bar includes the SkyOnDemand logo, user name 'suzuki_demo', and various utility icons. The 'Maito Trigger' (マイトリガー) icon is highlighted with a red box. Below the navigation bar, the 'Maito Trigger' (マイトリガー) menu is open, showing a list of tasks and a table of configured triggers.

マイトリガーのタスク

- 新しいスケジュールトリガーを作成する
- 新しいファイルトリガーを作成する
- 新しいHTTPトリガーを作成する
- 新しいWebサービストリガーを作成する
- 新しいAppFabricトリガーを作成する

設定可能なトリガーの種類

- マイトリガー
- システムディレクトリ

ヘルプ

- マイトリガーとは?

名前	種類	詳細	サービス/スクリプト	種別	状態	XMLログ	最終実行E	最終実行時
Aa	Aa	Aa	Aa	Aa	Aa	Aa	=	Aa
ファイルトリガー【取引先	ファイル	/data/webdav/Seminor/	suzuki_demo@CSV2SFC	デフォルト	無効	INFO		
受注確定データ出力(日次ト	スケジュール	毎日 22時00分 に実行	suzuki_demo@SFDC2CS	デフォルト	無効	INFO	2014/07/1!	正常終了 (0
受注確定データ出力トリガ	スケジュール	毎日 22時00分 に実行	suzuki_demo@受注確定	デフォルト	無効	INFO	2014/10/3!	正常終了 (0

設定されたトリガーの一覧

【トリガーの一覧】

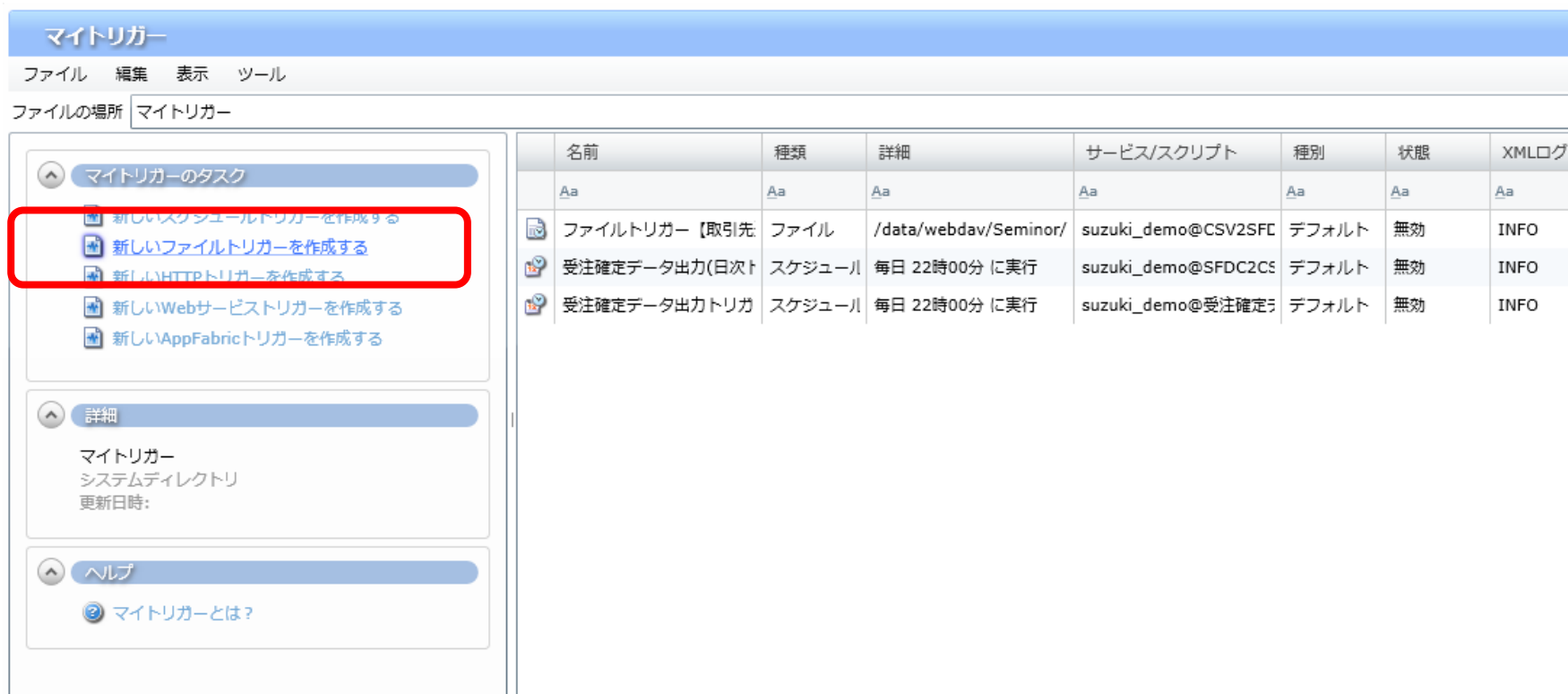
SkyOnDemandでは、以下の種類のトリガーが用意されています。

トリガー名	機能
スケジュールトリガー	指定したスケジュール単位でスクリプトを実行するトリガー一覧です。日単位、週単位、月単位、年単位、インターバル(指定した時間の範囲内で一定間隔に実行)で処理を実行することができます。
ファイルトリガー	監視対象のファイルの新規作成・更新・削除イベント発生時にスクリプトを実行することができます。
HTTPトリガー	指定したURLに対しHTTPクライアントからリクエストを実行することでスクリプトを実行することができます。
Webサービストリガー	指定したURLに対しWebサービスによるリクエストを送ることで、スクリプトを実行することができます。
AppFabricトリガー	Windows AzureにホストされたサービスからWindows Azure platform AppFabric(以下「AppFabric」)のService Bus経由でメッセージを送信することで、スクリプトを実行することができます。

②ファイルトリガーの設定

今回はファイルトリガーの設定を行います。

「マイトリガーのタスク」より、「新しいファイルトリガーを作成する。」を選択します。



マイトリガー

ファイル 編集 表示 ツール

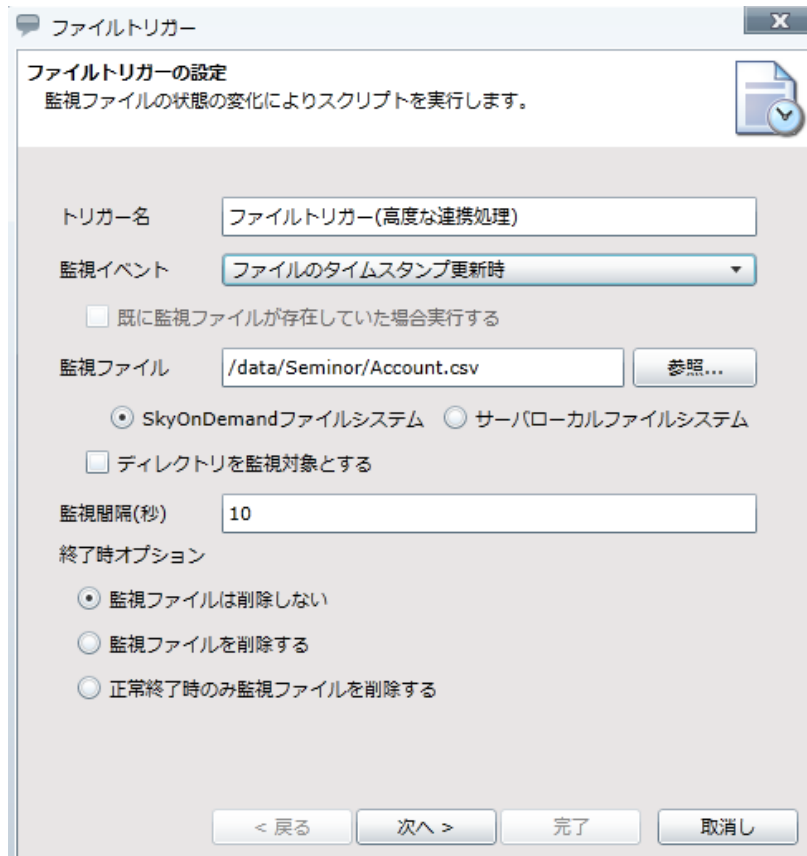
ファイルの場所 マイトリガー

名前	種類	詳細	サービス/スクリプト	種別	状態	XMLログ
Aa	Aa	Aa	Aa	Aa	Aa	Aa
ファイルトリガー【取引先	ファイル	/data/webdav/Seminor/	suzuki_demo@CSV2SFC	デフォルト	無効	INFO
受注確定データ出力(日次ト	スケジュール	毎日 22時00分 に実行	suzuki_demo@SFDC2CS	デフォルト	無効	INFO
受注確定データ出力トリガ	スケジュール	毎日 22時00分 に実行	suzuki_demo@受注確定	デフォルト	無効	INFO

③ ファイルトリガーの設定

ファイルトリガーの設定画面が表示されます。

トリガー名、監視イベント、監視ファイル、監視間隔、終了時オプションを設定します。



● 監視イベント

① ファイルの新規作成時...

監視対象ファイルが新規に作成された場合に発火

② ファイルのタイムスタンプ更新時...

監視対象ファイルがあるが上書き・更新された場合に発火

③ ファイルの消去時...

監視対象ファイルが消去された場合に発火

● 監視ファイル

監視対象となるファイルのパスを入力します。

※ファイル名の指定には、ワイルドカード(「*」アスタリスクのみ)が使用できます。

● 監視間隔

監視を行う間隔を10秒単位で指定できます。(デフォルトは10秒です。)

● 終了時オプション

実行スクリプト終了後のオプションを選択します。

① 監視ファイルは削除しない。

② 監視ファイルを削除する。

③ 正常終了時のみ監視ファイルを削除する。



今回の設定は、CSVファイル「Account.csv」を10秒間隔で監視し、ファイルが更新されると連携処理が実行される、といった設定になります。

④ ファイルトリガーの設定

次に実行内容の設定を行います。

実行ユーザ、実行するサービス(スクリプト)、また必要に応じスクリプト引数の設定を行います。

ファイルトリガー

実行内容の設定
トリガー発火時に実行される処理内容を設定します。

トリガー所有者: suzuki_demo

実行ユーザ名: suzuki_demo

パスワード: ●●●●●●

サービス: suzuki_demo@高度な連携処理(Sample)

スクリプト: 連携処理

スクリプト引数

変数名	型	値
-----	---	---

< 戻る 次へ > 完了 取消し

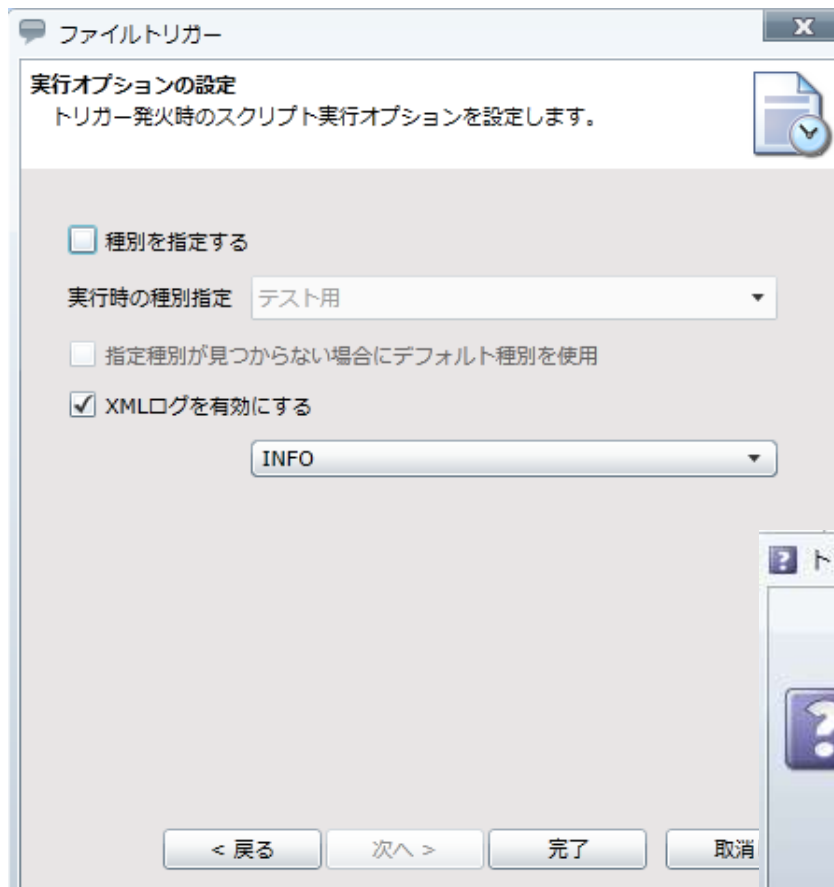
- **実行ユーザ/パスワード...**
スクリプトで指定したスクリプトを実行するユーザと
実行ユーザで指定したユーザのパスワード
- **サービス**
トリガーで実行するスクリプトを含むサービス
- **スクリプト**
トリガーで実行するスクリプトを選択
- **スクリプト引数**
スクリプトで指定したスクリプトに設定されているス
クリプト入力変数が表示されます。

⑤ ファイルトリガーの設定

最後に実行オプションの設定を行います。

実行オプションでは実行種別やXMLログの設定を行います。

最後にトリガーを「有効」な状態で登録すると、これでファイルトリガーの設定は完了です。



ファイルトリガー

実行オプションの設定
トリガー発火時のスクリプト実行オプションを設定します。

種別を指定する

実行時の種別指定 テスト用

指定種別が見つからない場合にデフォルト種別を使用

XMLログを有効にする

INFO

< 戻る 次へ > 完了 取消

● 実行種別・・・

スクリプトの実行時にグローバルリソースの設定を切り替えるための機構。

グローバルリソースに種別を設定することにより、スクリプトを編集することなくデータベースなどの接続先を切り替えることが可能。

● XMLログを有効にする・・・

「チェックあり」：スクリプトの実行時に、指定したログレベルでXMLログを出力します。



トリガー有効の確認

?

トリガーを「有効」な状態で登録します。
無効状態で登録する場合には、いいえを選択してください。

はい いいえ

⑦ファイルトリガーの実行

ファイルが更新されたことを検知し、ファイルトリガーが起動します。
Salesforceの取引先オブジェクトを見てみましょう。

先ほどエラーとなっていたレコードが、正しく登録されていることが確認できます。



The screenshot shows the Salesforce interface for account management. At the top, there is a navigation bar with tabs for 'リード' (Lead), '取引先' (Account), '取引先責任者' (Account Manager), '商談' (Opportunity), '売上予測' (Sales Forecast), '契約' (Contract), '注文' (Order), 'ケース' (Case), 'ソリューション' (Solution), '商品' (Product), 'レポート' (Report), 'ダッシュボード' (Dashboard), '見積' (Quote), '見積明細' (Quote Detail), and '契約プラン' (Contract Plan). Below this is a search bar with 'すべての取引先' (All Accounts) selected and buttons for '編集' (Edit), '削除' (Delete), and '新規ビューの作成' (Create New View). A table of accounts is displayed with columns for '取引先No' (Account No.), '取引先名' (Account Name), '電話' (Phone), '郵便番号(請求先)' (Postal Code (Billing)), '都道府県(請求先)' (Prefecture (Billing)), '市区郡(請求先)' (City/Town/Village (Billing)), and '町名・番地(請求先)' (Municipality/Address (Billing)). The first row, for '株式会社テラスカイ' (Terrasky Co., Ltd.), is highlighted with a red box. The table also includes an 'アクション' (Action) column with '編集' (Edit) and '削除' (Delete) options for each account.

アクション	取引先No ↑	取引先名	電話	郵便番号(請求先)	都道府県(請求先)	市区郡(請求先)	町名・番地(請求先)
編集 削除 +	1	株式会社テラスカイ	03-5255-3411	103-0028	東京都	中央区	八重洲1-6-6 八重洲センタ...
編集 削除 +	2	鈴木商事株式会社	03-3423-3322	111-0002	東京都	台東区	清州1-7-3 台東ビル23階
編集 削除 +	3	日本クラウド株式会社	03-3909-1358	142-0053	東京都	品川区	中延2-9-1 グランドタワー234
編集 削除 +	4	株式会社Sky364	011-252-2122	060-0042	北海道	札幌市中央区	大通西4丁目6-8住友成泉...
編集 削除 +	5	株式会社テラワーク	045-214-3922	220-1022	神奈川県	横浜市港区	1-45-63
編集 削除 +	6	株式会社クラウド...	03-2104-5988	110-4955	東京都	港区	1-3-5 スカイトワー25F

これで、ファイルトリガーの設定は完了です！

本日のゴール

- エラーハンドリングの実装方法や実行結果からエラー発生箇所を特定する流れについて
- ファイルトリガーの設定方法

SkyOnDemandの活用事例が知りたい！

- ・ 3月19日(木) クラウド連携のスタンダード【SkyOnDemand】ご紹介 & 体験セミナー
第1部 ご紹介セミナー
▼お申込みはこちらから
<http://www.terrasky.co.jp/event/2015/0319-001.php>

SkyOnDemandを実際に試してみたい！

- ・ 3月19日(木) クラウド連携のスタンダード【SkyOnDemand】ご紹介 & 体験セミナー
第2部 体験セミナー
▼お申込みはこちらから
<http://www.terrasky.co.jp/event/2015/0319-001.php>
- ・ トライアル(1ヶ月)お申込み
▼お申込みはこちらから
<https://www.terrasky.co.jp/contact/trial/index.php>

その他ご質問事項

下記までお気軽にご連絡ください！

TEL : 03-5255-3411

Email: product.sales@terrasky.co.jp

**ご清聴ありがとうございました
アンケートにご協力ください。**

